



松本圭使
Piano



清水昭好
Bass



香月宏文
Drums

宮崎が生んだ名サックスプレイヤー
《宮里陽太 Sax》率いるプロユニット
“宮里陽太 jazz quartet” による
心震えるコンサート



Concert & Symposium

コンサートとシンポジウム

～身近な人の困難に寄り添える社会に～

2022年
12月3日(土)

参加費
500円

当日会場にて
お支払い
ください

場所 MRTmicc ダイヤモンドホール

時間 13:00 - 16:30 (開場12:30)

定員 300名 申込期限 2022年11月28日(月)

*障害者手帳をお持ちの方と介護者1名無料、大学生以下無料



講演「きょうだい支援の必要性 ～当事者の声から見えてくるもの～」

沖 侑香里
yukari oki

講師：静岡きょうだい会代表 沖 侑香里 yukari oki

自身も障害のある妹とともに育ち、20代で「親なきあと」「妹の看取り」を経験。病気や障害のある方の「きょうだい」のためのピアサポート活動を行っている沖侑香里さんによる講演。

シンポジウム「地域で難病の子どもと家族を支える ケアについて真剣に考える」



三宅 玉恵



澤田 一美



蔵本 歩



奈須 彩乃・美幸



堤 育子

座長：三宅 玉恵 (HALEたちばな看護師・元宮崎県立看護大学教授)

シンポジスト：澤田 一美さん (はながしま診療所副院長)・蔵本 歩さん (母親)

奈須 彩乃さん 奈須 美幸さん (きょうだい)

コメンテーター：沖由 侑香里さん (静岡きょうだい会代表)

堤 育子 (HALEたちばな施設長)

※コンサートのみのご参加は受け付けておりません。

コンサートとシンポジウム
身近な人の困難に寄り添える社会に

このイベントを通して、難病の子ども達や
そのご家族のことを多くの方に
知っていただきたいと考えています。

お申し込みは
こちらから▼



この事業は、日本財団「難病の子どもと家族を地域で支える取り組み」の一環として実施します。

Supported by 日本財団 THE NIPPON FOUNDATION

コンサートとシンポジウム ～身近な人の困難に寄り添える社会に～

ホームホスピス宮崎は、今年の秋に在宅総合支援「HALE たちばな」を開設しました。

在宅医療と医療的ケア児の支援、学びの場、誰でも集えるコミュニティカフェなど、複合的な施設として、多くの皆様にご利用いただける場所となっています。その「HALE たちばな」が、2年目を迎えるのを記念して、宮崎が生んだ名サックスプレイヤー“宮里陽太”率いるプロユニットによる、心震えるジャズコンサートと幼い頃から難病を持つ妹さんのケアを行ってきた沖侑香里さんの講演やシンポジウムを開催します。

schedule	13:00 - 13:10 開会挨拶 市原美穂 (HHM理事長)
	13:10 - 14:15 コンサート 宮里陽太カルテット
14:30 - 15:30 講演 「きょうだい支援の必要性～当事者の声から見てくるもの～」 講師：沖侑香里さん（静岡きょうだい会代表）	
15:35 - 16:30 ホームホスピス・HALE たちばなの紹介 シンポジウム「地域で難病の子どもと家族を支える ケアについて真剣に考える」 三宅玉恵（HALE たちばな看護師・元宮崎県立看護大学教授） 澤田一美さん（はながしま診療所副院長） 奈須彩乃さん・美幸さん（きょうだい） 蔵本歩さん（母親）、沖侑香里さん（静岡きょうだい会代表） 堤育子（HALE たちばな施設長）	

このイベントを通して、難病の子ども達やそのご家族のことを多くの方に知っていただきたいと考えています。

profile コンサート

宮里陽太 jazz quartet

宮里陽太 Sax yota miyazato

宮崎県小林市出身。父親のコレクションであるJazzのレコードを小学生時代に聴き、John Coltrane や Mal Waldron にショックを受け、吹奏楽でテナーサックスを始める。2006年、洗足学園音楽大学ジャズコース卒業。ルーツであるジャズをベースにさまざまなジャンルやスタイルで数々のセッションやポップスのサポート、レコーディングに参加。2014年7月、デビューアルバム「Pleasure」をはじめ、2022年7月、4thアルバム「Precious」をMOONレーベルよりリリース。2011年～現在、山下達郎のコンサートツアーに参加。2014年～現在、竹内まりやのコンサートツアーに参加。

松本圭使 Piano keishi matsumoto

鹿児島県出身。幼少よりクラシックピアノを始める。18歳より演奏活動を開始するも、ジャズピアノの研鑽を積むためにニューヨークへ留学。帰国後は、鹿児島拠点にこだわりながら、CDの全国リリースや様々なグループに参加し、全国規模で活動を展開している。2019年10月、3rdアルバム「WITHIN THE CROWD」を発売。2014年モントルー・ジャズ・ピアノ・コンペティション・インかわさきでは、ファイナリストに選ばれた唯一の地方在住のピアニストとして話題を呼ぶ。平成29年第42回鹿児島市春の新人賞をジャズ部門で初受賞。鹿児島在住ながら日本のジャズシーンに大きな存在感を示している。

清水昭好 Bass akiyoshi shimizu

福岡県出身。幼少の頃から作曲に興味を持ち、14歳の時エレキベースを始める。大学進学時にジャズ研究会に入ったことをきっかけにウッドベースに転向し、独学で習得する。2006年から都内でプロ活動をはじめ、多数のミュージシャンと共演。日本を代表するギタリスト宮之上貴昭のバンドは約9年在籍した。来日ミュージシャンのサポートも多い。2010年、2012年、宮之上貴昭カルテットでカリフォルニアサンノゼジャズフェスティバルに出演。2020年6月、自己のQuintetでリーダーアルバムデビュー作「satya」をリリース。そのオリジナルサウンドは定評を得ている。

香月宏文 Drums katsuki hirofumi

宮崎県生まれ。高校卒業後、留学をきっかけに本格的にドラムを始める。2001年にアメリカ、ボストンのパークリー音大に奨学生として入学。2004年卒業後、NYで活動しAri Hoenig (アリ・ホニック) に師事。帰国後は、関東中心に活躍。2015年には、日本で唯一のジャズボーカル&フルーゲルホーン奏者TOKUのグループでUMKフェニックスJam Nightにも出演している。現在は宮崎を拠点に全国で活動し、福岡スクールオブミュージックのドラム科講師、宮崎MusicTech Studioでオーナー兼講師を勤める。

講師 profile 講演

「きょうだい支援の必要性 ～当事者の声から見てくるもの～」

沖侑香里 静岡きょうだい会代表 yukari oki

静岡きょうだい会代表。病気や障害のある方の「きょうだい」のためのピアサポート活動を主にしている。自身も障害のある妹とともに育ち、20代で「親なきあと」「妹の看取り」を経験。「きょうだい」や「ヤングケアラー」の啓発活動として、自治体や学校、関連機関での講演会・研修会にも複数登壇。共著に「ヤングケアラーわたしの語り 子どもや若者が経験した家族の介護・ケア(生活書院)」。

profile シンポジウム

「地域で難病の子どもと家族を支える ケアについて真剣に考える」

座長 三宅玉恵 HALEたちばな看護師・元宮崎県立看護大学教授

宮崎県生まれ。聖路加看護大学卒業。小児看護学修士。聖路加国際病院小児病棟に看護師として勤務したのち、1997年宮崎県立看護大学講師、2008年埼玉県立大学保健医療福祉学部准教授、2013年宮崎県立看護大学准教授、2015年県立看護大学教授など、2022年4月より現職。

シンポジスト 澤田一美 はながしま診療所 副院長

宮崎県都城市生まれ。1993年宮崎医科大学を卒業し、小児科医となる。NICUで重症心身障害児の医療に出会い、小児神経学を志す。宮崎県立子ども養育センターなどを経て、現職。趣味はハンドメイド雑貨(屋号:まめとれん)

シンポジスト 蔵本歩 母親

熊本県生まれ。現在は宮崎在住。夫、県外の大学生の長女、特別支援学校に通う二女の4人家族。二女が重度心身障がい児で、様々な福祉サービスを利用しながら自宅介護をしている。

シンポジスト 奈須彩乃・奈須美幸 きょうだい

彩乃 宮崎県生まれ、25才。宮崎大学医学部看護学科卒業。現在京都の病院で保健師業務に携わる。美幸 宮崎県生まれ、22才。福岡教育大学4年生。特別支援学校の教員になるべく学習中。重度心身障がいを持つ弟(19才)があり、姉妹は小学生の頃から医療ケアの手伝いをしながら育つ。

コメンテーター 沖侑香里 静岡きょうだい会代表

コメンテーター 堤育子 HALE たちばな施設長

宮崎県生まれ。訪問看護認定看護師。早くから小児の訪問看護に携わり、患児・家族を支援してきた。2015年より訪問看護ステーションぱりおんに勤務。2016年より同所長。2021年HALE たちばなの開設と同時に施設長となる。

[主 催] 認定NPO法人ホームホスピス宮崎

[名義後援] 宮崎市・公益社団法人宮崎県医師会・公益社団法人宮崎市郡医師会・公益社団法人宮崎県看護協会・一般社団法人宮崎県理学療法士会・宮崎県ケアネットワーク・宮崎県訪問看護ステーション連絡協議会・宮崎日日新聞社・NHK宮崎放送局・MRT宮崎放送・UMKテレビ宮崎

[問い合わせ先] 認定NPO法人ホームホスピス宮崎
〒880-0913 宮崎市恒久2丁目19-6
Tel.0985-53-6056 Fax.0985-53-6054
Mail. office@npohhm.jp

